



M&Aセミナー (ブラジル)

PRICEWATERHOUSECOOPERS 

昨今の激動の世界経済危機を乗り越えたブラジルは、再びグローバルプレーヤーにとって魅力的で力強い市場となっています。20年におよぶ安定した政治と通貨、強固な財政規律、増加する外貨準備、堅実なマクロ経済指標および急拡大する国内消費は、多様化した経済と多岐にわたる事業者ならびに規律ある財政システムと相まって、経済危機の悪影響を最小限に留めたカギとなりました。

財務投資家そして戦略的投資家は、これまでの発展と今後の投資機会に熱い視線を注ぎ、対ブラジル戦略の再考を早急に進めています。クロスボーダーM&A取引と強力な資本市場は、その投資機会を結実させる上で重要な役割を果たすことでしょう。

2009年のブラジルにおけるM&A件数(公表ベース)は2008年と同等レベルの約640件に達しました。とりわけ、中規模ディール市場は引き続き強含みで、2010年もM&A市場を牽引するとみられます。投資主体別にみますと、公表済みディールのうち外国人投資家によるものは約40%を占め、経済危機以前のレベルに戻りました。またプライベート・エクイティによるディールの割合は約30%で、記録的水準に達しています。

2010年のディール市場の展望は明るそうです。というのも、世界的にコモディティ需要が強まる中で、石油・ガスプロジェクトの増加や不動産信用の拡大、農業分野での資金調達活動が進むことにより、結果として資金需要を満たすべく資本市場が活用されるとみられるためです。政府による積極的なインフラ整備計画や、2014年のサッカーワールド・カップおよび2016年のオリンピックに関連する投資熱の高まりと併せ、プライベート・エクイティおよびM&Aが資本市場をより刺激することとなりそうです。

本セミナーにおいては、PwCブラジルおよびPwC日本の経験豊富なアドバイザーが「M&A」という切り口でブラジルの経済・事業環境をご説明いたします。クロスボーダーM&A取引における諸問題、業界毎の特徴、ならびに実際の投資案件とアプローチ方法等を、PwCの経験を踏まえてご紹介します。なお、6月2日および3日には、PwCメンバーとの個別ミーティングの機会も設けさせていただきます。

日時

セミナー : 2010年6月1日(火) 13:30-17:00(受付開始13:00)

個別ミーティング : 2010年6月2日(水)および6月3日(木)

* 個別ミーティングをご希望のお客様は、お時間等の調整をしますので以下の担当者宛てにご連絡ください。
山崎幸司 (080-1373-5101, koji.k.yamasaki@jp.pwc.com)

会場

大手町ファーストスクエア カンファレンス

住所: 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 ファーストスクエアイーストタワー2F

定員

80名 (競合企業の方はお断りする場合がございます)

参加費

無料 (事前登録制)

言語

英語(英語→日本語の同時通訳がつきます)

お申し込み方法

右記必要事項を明記の上、下記Emailアドレス宛てにお申し込みください。

プライスウォーターハウスクーパース株式会社

セミナー事務局

jp.consultants.event_mailbox@jp.pwc.com

PwCセミナー事務局

メールアドレス:

jp.consultants.event_mailbox@jp.pwc.com

件名【M&Aセミナー・ブラジル】

(1) お名前

(2) 貴社名

(3) ご所属部署

(4) 役職名

(5) 電話番号

(6) e-mailアドレス

* 受講票送付のため必ずご記入ください

(7) 今後PwCからの各種情報提供を

希望するか? (Y/N)

プログラム予定（2010年6月1日）

テーマ	時間	講師
開会のご挨拶	13:30 – 13:35	Matthew Wyborn (PwC Japan)
PwCブラジルご紹介	13:35 – 13:45	Alexandre Pierantoni (PwC Brazil)
ブラジル市場について	13:45 – 14:30	Alexandre Pierantoni (PwC Brazil)
M&Aおよびプライベートエクイティ業界	14:30 – 15:15	Alexandre Pierantoni (PwC Brazil)
休憩	15:15 – 15:35	
投資機会のご紹介	15:35 – 16:20	Alexandre Pierantoni (PwC Brazil)
PwC日本およびPwCブラジルのサポート体制	16:20 – 16:40	Matthew Wyborn (PwC Japan) Alexandre Pierantoni (PwC Brazil)
閉会のご挨拶	16:40 – 16:50	Matthew Wyborn (PwC Japan) Alexandre Pierantoni (PwC Brazil)

個別の案件またM&Aに関するご相談を6月2日および6月3日の両日にてPwCブラジルおよびPwC日本のメンバーとのミーティングを設定可能です。ご希望の方は、山崎幸司（080-1373-5101, koji.k.yamasaki@jp.pwc.com）までご連絡ください。

担当講師およびプライスウォーターハウスクーパースご紹介

Matthew Wyborn（プライスウォーターハウスクーパース株式会社 コーポレートファイナンス担当パートナー）
近年拡大する日本企業のクロスボーダーM&Aを中心に国内における事業会社および財務投資家に向けディールの案件化、リードアドバイザー業務を提供。1989年にPwC入社。英国勅許会計士。

Alexandre Pierantoni（PwCブラジル コーポレートファイナンス担当パートナー）
M&A、バリュエーション&エコノミクス業務に15年以上従事。
Fundação Getúlio VargasにおいてMBA取得。ドイツにおいて経済学・経営学位取得。

PricewaterhouseCoopers

プライスウォーターハウスクーパース(PwC)*のグローバルネットワークを構成する各法人は、クライアントの産業に焦点をあてたアドバイザーサービス、監査、税務の提供を通じて、クライアントおよびその利害関係者の社会的信頼の確立と価値の向上を目指しています。世界151カ国に163,000人以上のスタッフを有するPwCグローバルネットワークを活用し、見識や経験、ソリューションを共有することによって、常に新しい視点から実践に即したアドバイスを提供しています。

お問い合わせ、および個別ミーティング予約連絡先

山崎幸司 (Tel: 080-3731-5101 Email: koji.k.yamasaki@jp.pwc.com)

プライスウォーターハウスクーパース株式会社 コーポレートファイナンス

東京都中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル